

2026年度 商学部 履修登録の注意事項について

目次

1. 履修登録に関する注意事項
2. 外国語科目の履修（再履修）について
3. 必修科目の履修（再履修）について
4. 許可制科目の履修について
5. 秋学期履修変更について
6. 教員免許・各種資格取得のための自由科目および他学部配当科目の履修について
7. 新3年次生の履修の注意点
8. 新4年次生の履修について
9. 2026年度 会計研究科授業科目 入学前履修について

1. 履修登録に関する注意事項

- 1 各年次の履修制限単位は次のとおりです。

通年科目を履修する場合は、その2分の1の単位数を春・秋学期それぞれの履修単位に算入して計算してください。また、原則として、在学する学期は、最低2単位履修しなければなりません。

例年、卒業所要単位に満たずに残留決定になる場合が見られますので、余裕をもった履修をし、履修した科目は修得することを目指してください。履修については、自己責任です。

1年次～3年次	各学期とも23単位以内、年間42単位以内
4年次	各学期とも26単位以内、年間49単位以内

- 2 卒業要件については、関西大学教務ガイド『KAN-CAN!』の商学部・学部要項内の「卒業所要単位について」を参照してください。
- 3 履修登録していない科目を受験した場合は、無効です。また、一度修得した科目は再度履修できません。
- 4 原則として、上位年次の配当科目は履修することができません。
- 5 選択した専修により、どの科目が卒業に必要であるか再度確認のうえ、履修登録を完了してください。
- 6 4年次生は、履修登録の単位集計時に表示される「卒業見込判定」に特に注意してください。
- 7 外国語科目など科目によっては、受講クラスが指定されています。指定されたクラス以外での履修は無効となりますので、クラス指定がされている科目は、指定されたクラス（履修登録画面参照）で登録してください。また、受講許可を必要とする外国語科目の履修については、事前に所定の手続きを経て許可された者に限ります。
- 8 専門教育科目のうち、科目名の後ろに(カッコ)で「テーマ」を付した科目は、1授業科目について2テーマ4単位までしか卒業所要単位に含めることはできません。例えば、第2類の「英語で学ぶ現代ビジネス（各テーマ）」は2テーマまで、各専修における「○○○○特殊講義（各テーマ）」は各専修において2テーマまでしか卒業所要単位に含めることはできません。

2. 外国語科目の履修（再履修）について

- 1 新2年次における各外国語「Ⅲa・b」「Ⅳa・b」の履修について
原則として履修登録画面上に事前表示（プリセット）しています。
- 2 過年度に単位を修得できなかった各外国語の再履修について
履修登録画面上に事前表示（プリセット）していません。必要に応じて履修登録画面上の「カリキュラム一覧からの登録」等の機能を利用して、当該科目（クラス）を履修登録してください。

春学期に「英語Ⅲb・Ⅳb」を履修することで、卒業見込みとなる場合は、履修することができますので、教務センターに相談してください。

なお、検定認定で単位を修得する予定である場合は、特に履修登録をする必要はありませんが、4年次で卒業見込証明書が必要な場合は、必ず履修登録をしてください。

3. 必修科目の履修（再履修）について

- 1 「基礎演習」の再履修について
原則として履修登録画面上に事前表示（プリセット）しています。
- 2 「基礎演習」以外の必修科目について
履修登録画面上に事前表示（プリセット）していません。必要に応じて履修登録画面上の「カリキュラム一覧からの登録」等の機能を利用して、当該科目（クラス）を履修登録してください。
なお、「簿記入門演習」については、学外資格単位認定で単位を修得する予定である場合は、特に履修登録をする必要はありませんが、4年次で卒業見込証明書が必要な場合は、必ず当該科目を履修登録してください。

また、主として秋学期に開講している「流通入門」および「ビジネス英語入門」の再履修クラスを春学期に開講していますので、希望者は上記と同様の手順にて当該科目を履修登録してください。必修科目の修得は、3年次からの「専門演習」を履修するための先修条件ですので、早い段階での修得を推奨します。

4. 許可制科目の履修について

許可制科目を履修する場合は、以下のとおり手続きが必要です。

※対象科目や手続き期間はインフォメーションシステム「お知らせ」にて案内しますので、各自確認してください。

※インフォメーションシステムの抽選システムから申込してください。

※許可科目は抽選発表日の翌日にWeb上の履修登録画面上にプリセット（事前登録表示）します。

※あらかじめWeb上でクラスを指定されている科目（外国語・「専門演習」等）を確認してから申込んでください。

※受講を許可された科目は、取消・変更ができませんので注意してください。

※許可発表後、後日、追加募集を行う場合があります。インフォメーションシステムでお知らせいたしますので、随時確認してください。

5. 秋学期履修変更について

春学期の成績発表を受けて、履修制限の範囲内での履修変更（科目の変更・追加・削除）ができます。ただし、許可制科目およびクラス指定科目（外国語、保健体育科目、演習科目等）を除きます。

6. 教員免許・各種資格取得のための自由科目および他学部配当科目の履修について

- 1 自由科目および他学部配当科目の単位は卒業所要単位に算入することはできません。
- 2 自由科目および他学部配当科目を履修する場合は、履修制限単位外で毎年度30単位（「教育実習事前指導」、「教育実習（一）」、「教育実習（二）」、「インターンシップ（ビジネス）」、「インターンシップ（学校1～3）」、「イングリッシュ・メディア・ラボⅡa、Ⅱb」は含まない）まで履修することができます。
- 3 各種資格取得に必要な他学部配当科目を履修する場合は、教職科目一覧表を参照し、履修を希望する他学部開講科目を各自、Web履修システムにより、登録してください。
- 4 教職課程に関する連絡は、すべてインフォメーションシステムにより行います。各種ガイダンスの実施日程等については、別掲の日程表を各自で必ず確認してください。

7. 新3年次生の履修の注意点

所属専修の登録について

3年次生（休学等による在学年数不足者も含む）は、所属専修をWeb履修画面にて登録してください。所属専修の登録を済ませなければ、履修登録ができません。

○ 「専門演習・BLSP」許可者は、許可された担任者の所属専修を登録してください。「ALSP」許可者は、会計専修を登録してください。

○ 上記以外の学生は、希望する所属専修を登録してください。

「専門演習・BLSP・ALSP」の履修について

- 1 「専門演習・BLSP・ALSP」は事前に手続きし、受講を許可された者に限り履修できます。許可者はWeb履修登録画面

に表示されますので、確認してください。

- 2 「卒業研究」および「研究論文」(4年次配当)は、「専門演習」を修得しなければ履修できません。
- 3 2年次成績発表の結果、受講資格を満たさなかった場合は、その許可は取り消しとなります。

DSI プログラム科目の履修について

商学部が実施している、ビジネスプロセスを科学的かつ実践的に分析できる「プロセスイノベーター」の育成・教育プログラムを開発することを目的としたプロジェクト(商学部矢田勝俊教授担当、文部科学省平成20年度「産学連携による実践型人材育成事業」に採択)の一環として、「データハンドリングの基礎」「統計解析演習」「産学連携プログラム基礎」「産学連携プログラム応用」「サービスサイエンス基礎」「サービスサイエンス応用」6科目を開講します。いずれの科目も定員20名程度の許可制科目とし、また履修に際しては別途説明会を開催する予定ですので、履修希望者は必ず出席してください。開催日時等の詳細は追ってお知らせします。

8. 新4年次生の履修について

「卒業研究」および「研究論文」の履修について

「卒業研究」および「研究論文」は、「専門演習」を修得しなければ履修することができません。3年次に履修した「専門演習」と同一担任者の「卒業研究」および「研究論文」をプリセット(事前登録)していますので、各自確認してください。

また、BLSP履修生は、「プロジェクト研究3」「プロジェクト研究4」「プロジェクト・ペーパー」をプリセット(事前登録)していますので、各自確認してください。

在籍学期における最低履修登録単位数について

3年次終了時点で卒業要件を満たしている場合(4年次において履修する必要がない場合)や、4年次の春学期または秋学期のみで卒業要件を満たす場合でも、在籍する学期においては必ず最低2単位の履修登録が必要です。毎年、卒業所要単位数に満たずに残留決定になる場合が見られますので、必要最低限の履修ではなく、余裕をもった履修をし、履修した科目は修得することをめざしてください。

4年次履修登録について

4年次の履修登録は、言うまでもなく卒業に大きく影響します。毎年、自身の思い違いにより残留となってしまうケースが少なからず見受けられます。履修登録は自己責任です。履修登録に際しては、自身の単位修得状況を今一度よく確認し、「HANDBOOK」もしくは関西大学教務ガイド『KAN-CAN!』を参照のうえ、不足分野はどこなのか、履修科目は卒業所要単位数に算入されるかなど十分に注意してください。

9. 2026年度 会計研究科授業科目 入学前履修について

会計研究科への進学を予定・希望し、所定の基準を満たした学部生を対象に、会計研究科でしか提供されない高度な専門科目の履修を認めます。詳細はインフォメーションシステム「お知らせ」にてご案内いたしますので、ご確認ください。